



令和5年度 学校だより

明和の風

HP <http://nk-meiwa-j.la.coccan.jp/>

中野区立明和中学校

令和5年4月11日

令和5年度第1号

教育目標：人権尊重の精神を基盤に、レジリエンスをはぐくみ、21世紀をよりよく生き抜く力を身に付けるために

○ 学び合う ○ 認め合う ○ 高め合う ○ 支え合う

明和中3年目が始まりました

統括校長 熊谷 恵子

令和5年度になりました。御入学、御進級、おめでとうございます。早いもので、明和中学校も開校3年目を迎えました。本年度は165名の新入生を迎え、生徒数504名でのスタートです(第1学年5学級・第2学年5学級・第3学年5学級・I組3学級)。

年度当初にあたり、本年度、明和中学校が進めていく教育活動の柱を紹介いたします。なお詳細は、本号4頁の「令和5年度 中野区立明和中学校 学校経営方針」を御覧ください。

令和5年度 明和中学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 人権教育の推進 ※1
- イ 安全・安心な学校づくりの一層の推進 ※2
- ウ 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす学習活動の充実 ※3
- エ 中野区コミュニティ・スクールを基盤とした15年間の学びの連続 ※4
- オ 社会に開かれた教育課程の実現 ※5
- カ 多文化共生社会で活躍する人材の育成 ※6
- キ 人生100年時代を健康に過ごすための基盤づくりの推進 ※7

- ※1 令和4・5年度東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」として全ての教育活動において人権教育を推進します。令和5年12月22日(金)、本校にて研究発表会を行います。
- ※2 野方消防署や野方警察署、中野区役所防災危機管理課等の協力の下、実践的な防災訓練や防犯訓練を取り入れます。交通安全については、令和5年5月2日(火)スケアード・ストレイト(スタントマンを活用した交通安全教室)を実施し、自転車による交通安全の未然防止を図ります。
- ※3 全教員が、一人ひとりの子どもを主語とする学習者主体の学びの重要性を常に意識し、「主体的で対話的で深い学びの実現」に向け、学校全体で授業改善に取り組みます。
- ※4 中野区コミュニティ・スクールとして、15年間を見通した地域の子どもの育成を目指し、保護者や地域との一層の連携強化に努めます。
- ※5 地域人材や資源、包括連携協定を結んでいる企業や大学等の外部機関を活用し、社会に開かれた教育課程の実現を目指します。
- ※6 多様な人々との関わりを重視した教育活動を意図的・計画的に行うことで、生徒の自己有用感を基盤とした自己肯定感を高めるとともに、人権意識を高めていきます。
- ※7 生涯を通じた健康づくりの素地を作るため、連携小学校4校とも協力しながら、体力向上に向けた取組や食育を進めていきます。

本年度も、学校教育目標の実現に向け、積極的に教育活動を推進してまいります。保護者や地域の皆様、引き続き、御理解・御協力方、よろしくお願ひいたします。

INFORMATION

こんな心配はありませんか。

お子さんの成長や発達が少し気になったら…

落ち着きがないから、授業中ちゃんと座ってられないじゃないかな。

文字を読むのが苦手みたいだから、授業についていけるか心配だな。

自分の気持ちをコントロールしたり、発信したりするのが苦手なのよね。

東京都では「特別支援教室」の制度を導入し、支援の体制を整えています。その概要をご案内します。

■特別支援教室

通常の学級に在籍し、特別な指導を必要とする児童・生徒が、在籍学級における障害による学習又は生活上の困難を改善・克服を図るため、一部の時間、別の教室で指導を受けられる制度です。なお、特別支援教室は、原則自分の学校で指導を受けます。

特別支援教室の対象となる児童・生徒

- ・通常の学級に在籍している児童・生徒
- ・知的障害がなく、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害がある児童・生徒



特別支援教室での指導・支援

在籍学級



指導の工夫

小・中学校



特別支援教室

巡回指導教員



自立活動の指導

在籍学級の授業(国語等)を抜け、月1時間~週8時間程度、自立活動の授業を受けに行きます。

連携・情報共有

<指導内容例>

体の使い方や姿勢の保持が苦手で、落ち茎がない児童・生徒に対して、様々な課題を設けた運動を繰り返し行うことで、バランス感覚や触覚、運動感覚を高められるようにします。

学級担任等と巡回指導教員の連携・情報共有により、児童・生徒の在籍学級における困難を把握し、その困難に応じた自立活動の指導を行います。

特別支援教室では、巡回指導教員以外にも、心理の専門家と特別支援教室専門員が支援を行っています。

- 心理の専門家……障害の状態を把握し、指導上の配慮について教員に助言します。
- 特別支援教育専門員……教員とともに、児童・生徒の行動観察や教材作製などを行います。



拠点校

- ・巡回指導教員が集中的に配置されている学校を拠点校と言います。
- ・巡回指導教員はあらかじめ決められた曜日・時間に対象の児童・生徒が在籍する学校を巡回し、特別支援教室において指導を行います。
- ・巡回指導教員同士が常に指導の方法や教材等を共有していくことで質の向上を図り、一人ひとりの児童・生徒の状況に応じて適切な指導を行います。

巡回指導教員



早期発見・早期支援が重要です。

東京都教育委員会「東京都の発達障害教育」から

この件につきまして、ご相談や詳細を聞きたい等の御希望がありましたら、担任にお申し出ください。

中野区が目指す教育の姿

- 自らの力で道を切り拓く、進取の気概をもっている
- 多様な人間性を認め合い、思いやりにあふれている
- 公共の精神に基づき、共に社会をつくらせている
- 家族、わがまち、祖国を愛し、国際社会の中で人とのつながりを大切にしている

教育目標

- 人権尊重の精神を基盤に、レジリエンスをはぐくみ、
21世紀をよりよく生き抜く力を身に付けるために
- 学び合う ○ 認め合う ○ 高め合う ○ 支え合う

※ レジリエンス…困難に負けない力、回復力、柔軟性、しなやかさ

本年度の基本方針

- ア 人権教育の推進
- イ 安全・安心な学校づくりの一層の推進
- ウ 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす学習活動の充実
- エ 中野区コミュニティ・スクールを基盤とした15年間の学びの連続
- オ 社会に開かれた教育課程の実現
- カ 多文化共生社会で活躍する人材の育成
- キ 人生100年時代を健康に過ごすための基盤づくり

目指す生徒像

- 主体的に学び、対話し、考えを深め、適切に判断して行動できる生徒
- 多様性を理解し、互いの立場、考え、良さ、違いを認め合うことができる生徒
- 仲間と切磋琢磨し合い、高みを目指そうとする生徒
- 学校・家庭・地域・社会の一員として、自分の役割と責任を自覚し、ともに支え合おうと努める生徒

期待される学校像

- 一人ひとりの能力を最大限に伸ばす学校 (夢の実現に向けた支援を充実)
- 自己肯定感や自己有用感を高める学校 (認め、励まし、応援する指導の重視)
- 安全で安心な学校(誰もが、元気で明るく生き生きと過ごせるよう環境を整備)
- 地域とともにある学校(地域の一員としての自覚をもち、連携・協力)

求められる教職員像

- 健康で、柔軟性があり、生徒一人ひとりの良さを見出し、引き出し、伸ばすことのできる教職員
- 危機管理意識を高くもち、気付き、行動し、的確に判断できる教職員
- 向上心をもち、絶えず学び続ける教職員
- 教育公務員として、都民の期待と信頼に応える教職員

- 多様な人々との関わりを重視した学習活動を通して人権意識を高め、様々な立場や異なる考え方をもつ人々を理解し、受容するとともに、自分には何ができるかを考え、行動できるようにする。
- 毎月の避難訓練や地区防災訓練等を通して、防災意識と対応力を高め、地域防災の担い手としての資質と能力を身に付ける。
- SNS明和中ルール及び家庭ルール、情報モラル学習を踏まえ、自身の生活習慣、人間関係、健康を守るとともに、情報社会において責任ある行動を取れるようにする。
- SOSの出し方を理解し、様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるとともにいざという時に行動に移せるようにする。
- 朝読書に取り組み、落ち着いた読書をする習慣をもつことで、豊かな情操を育み、生涯に渡る読書生活の基盤を作る。
- 目標をもち、見通しをもって、計画的に学習に取り組む。
- 他国の文化を大切にするとともに、我が国の伝統・文化を尊重し、学び、継承しようとする。
- 社会の出来事に興味・関心をもつとともに、キャリア・パスポートの活用を通して、自己理解を深め、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるようにする。
- 職場体験学習やボランティア活動を通して、社会貢献意識を高め、主体的に自分の生き方を考える。
- 生涯を通じた健康づくりの素地をつくるため、基本的な生活習慣を確立し、毎朝の健康確認や基礎運動にすんで取り組む。
- 感染症やがんを含めた生活習慣病の予防に関する正しい理解を通して、主体的に健康管理に努める。

- 令和4・5年度東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」として、全ての教育活動において人権教育を推進する。例えば、総合的な学習の時間では人権学習を大テーマに据えるなど、多様な人々との関わりを重視した教育活動を意図的・計画的に取り入れる。
- 道徳科を要とした全ての教育活動において、自己有用感を基盤とした自己肯定感を高め、他者を思いやる心や自他の生命を尊重する態度、社会貢献意識等、持続可能な社会の担い手としての資質や能力を醸成する。
- 様々な教育活動において、学び合い、認め合い、高め合い、支え合う場を設けることで、一人ひとりが自分の居場所を確保し、安心して生活できる環境を作る。また、豊かな情操をはぐくむことができるよう、植栽等、校内環境を整える。
- 「中野区子どもの権利に関する条例」の考え方を基盤に、人権課題「子供」に向き合い、その解消を目指すとともに、学級活動や生徒会活動、学校行事等において、生徒の意見や考え、思いを安心して表明できる場を設定する。
- 野方消防署や野方警察署の協力の下、実践的な避難訓練や防犯訓練を取り入れる。交通安全については、スケアード・ストレイトを実施し、自転車による交通事故の未然防止を図る。
- 中野区いじめ防止等推進条例及び中野区いじめ防止基本方針に基づき、本校の基本理念「一人ひとりの人権と多様性の尊重」の下、本校いじめ防止基本方針に沿って、学校いじめ対策委員会を中心に、組織的な相談機能及び組織的な対応力を高め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決、早期解消を図る。→「いじめをしない、させない、見逃さない」
- 中野区コミュニティ・スクールとして、保護者や地域との連携強化を図るとともに、地域人材や資源、包括連携協定を結んでいる企業や大学等の外部機関を活用し、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。
- 学校公開やホームページでの発信を通して、本校の教育課程の趣旨や内容について、家庭や地域と共有を図る。
- I組との交流及び共同学習や東京都立永福学園等との副籍交流を通して、障害の有無に関わらず、互いを尊重し、支え合う態度の育成を図る。
- 人生100年時代を健康でよりよく過ごすことができるよう、連携小学校4校とも協力しながら、体力向上に向けた取組や食育を意図的・計画的に進める。

- 人権教育を軸とした教科横断的なカリキュラム・マネジメントを実施し、多様性を理解し、互いの違いを認め合える学校風土を醸成する。
- 教職員一人ひとりが生徒の不安や悩み等の早期発見に努めるとともに、スクールカウンセラーや心の教室相談員等を含めた組織的なネットワークの下、時期を失することなく全教職員が課題を共有し、解決策を図り、即時対応することで、早期解決を目指す。
- 同僚性を基盤とした協働的生徒指導体制を構築し、問題行動が発生した際には、その背景を踏まえつつ、保護者はもとより関係機関と連携し、早期解決を図る。
- 全教員が、一人ひとりの子どもを主語とする学習者主体の学びの重要性を常に意識し、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向け、学校全体で授業改善に取り組む。
- 一人1台端末を最大限に活用し、個々の学習状況に合わせた「個別最適な学び」を充実させるとともに、探究的な活動や交流活動を通じた「協働的な学び」を一層充実させる。なお、「個別最適な学び」では、個に応じた指導と学習の個性化を通して、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、学習への興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を育てる。
- 法令や「教職員の服務に関するガイドライン」を踏まえ、体罰や個人情報紛失等の服務事故を絶対に起こさないという意識と行動を徹底する。
(机上整理・個人情報の手渡し、複数での書類確認)
- 公費・私費ともに適時適正な会計処理を実施する。
- 教職員の背中を見て、生徒は育つ。
全ての基本である「挨拶」を、教師自ら励行する。特に、接遇(電話対応、来客対応)に留意する。